

―特集―

ユマニチュードで

認知症ケアが

つながる

地域での成果と可能性

本誌2015年4・5月号でも大々的に紹介し、その哲学と技術の有効性への衝撃とともに受け入れられた「ユマニチュード」。

昨年7月には日本ユマニチュード学会が設立され、第1回総会が開催されました。

日本の医療・介護現場の専門職だけでなく、介護家族、市民や子どもたちなど多くの人々が触れ、「個人の技術」が「組織・集団の技術」へと発展し、着実な広がりを見せています。

本誌では、「認知症ケアがつながる」をキーワードに地域におけるユマニチュードの成果と可能性に着目します。



2019年10月5日 日本訪問看護財団研修にて